

## 性行為感染症で増加している A 型肝炎

日本感染症学会は平成 30 年 7 月 18 日、A 型肝炎患者の報告数増加に伴う注意喚起について ([http://www.kansensho.or.jp/news/gakkai/1807\\_hepatitis\\_a.html](http://www.kansensho.or.jp/news/gakkai/1807_hepatitis_a.html)) 報告しました。

2012 年から 2018 年までの A 型肝炎の報告数は、全国的な流行が見られた 2014 年 (433 例) を除き、年間約 100~300 例でした。ところが 2018 年は第 24 週時点で 417 例が報告され、急激な患者数増加が認められています。なお、都市部を中心に、国内の複数地域より患者の報告がみられています。2018 年第 1 週から第 24 週までに診断された 417 例は年齢中央値が 37 歳 (2~85 歳) で、2015~2017 年に比較して低年齢化していました。2018 年の男女別年齢中央値は男性が 37 歳、女性が 42 歳でした。性別は 2018 年の男性の割合が 92% と男性に増加していました。推定される感染経路は 2018 年の報告 (417 例) では、経口感染の割合 (38%) が過去の報告 (74%) と比較して低く、性的接触 (53%) が過去の報告 (4%) と比較して高い割合でした。特に、男性における性的接触の割合が (58%) で、過去の報告 (5%) と比較して高く、女性における性的接触の割合 (3%) は、過去 (1%) と比較して大きな変化はありませんでした。

以上の結果から、今年の A 型肝炎の増加は男性間の性交渉による感染増加と考えられています<sup>1)</sup>。

以前流行した 2014 年の時は流行した原因は不明でしたが、海産物のカキが疑われていました。もともと A 型肝炎は経口感染症と考えられ、患者の糞便中に排泄されたウイルスにより蔓延するためウイルスが長く生存する海産物 (貝など、数か月間生存する?) が主原因と考えられ、輸入海産物が多く原因となり、また、レタス、イチゴなどの農産物の冷凍食品による集団発生例も報告されていました<sup>2)</sup>。

しかし、欧米諸国では、A 型肝炎は男性同性愛者 (MSM) の性行為感染症として古くから知られており、oral-anal-contact などによる感染経路が疑われています。米国アトランタでの A 型肝炎流行時には男性 A 型肝炎患者の 75% が男性同性間性的接触を行っていたという報告もあります<sup>3)</sup>。また、本邦でも新宿の男性同性愛者 (MSM) 間での集団発生の報告もあります<sup>3)</sup>。MSM のなかでも HIV の患者では A 型肝炎の感染率が高く、またウイルス量が多く、かつ肝炎の症状が軽快後も数か月間はウイルスを排出することが解ってきたため、症状軽快後も飲食関係の仕事を回避させる必要があります。また、パートナーの感染既往の検査や、抗体未保有の場合はワクチン接種が奨められます。CDC では MSM への A 型ワクチンの接種が奨められています<sup>4)</sup>。ワクチンは当日、4 週間後、24 週間後の 3 回筋注スケジュールで抗体獲得率はほぼ 100% で、防御効果も数年持続し、優秀なワクチンです。時間のないひとは 2 回接種でもかなりの効果があります<sup>2)</sup>。しかし、HIV の人へのワクチンの効果はやや低下することが報告されています<sup>4)</sup>。

A 型肝炎は日本ではなお食物を介した経口食品感染症と考えられがちですが、今年の報告ではすでに性的接触による感染が多くなっており、STD として考えたほうが良い感染症で、その場合、従来考えられてきた感染蔓延予防方法とは異なる対応が必要となります。

本邦での A 型肝炎抗体保有率は減少の一途をたどり、60 歳以下で 20%、50 歳以下でほぼ 0%と、いわば A 型肝炎の感染に対して無防備状態となっており<sup>2)</sup>、今後も感染が増加し続ける可能性もあります。また、自然治癒する感染症とはいえ、0.5%の確率で劇症化し、肝臓移植も考慮する事態にもなりかねず、A 型肝炎ワクチンはトラベラーズワクチンのみならず、STD 予防としても重要な役割を果たすことになるでしょう。

菊池中央病院 中川 義久

平成30年8月17日

#### 参考文献

- 1) A 型肝炎患者が例年より増加傾向 . 日本医事新報 2018 ; 4919 ; pp16 .
- 2) A 型肝炎に要注意 !  
<http://www.nobuokakai.ecnet.jp/5014.html>
- 3) 武市 朗子ら : 男性同性愛者における急性 A 型肝炎の流行についての検討 . 感染症誌 2000 ; 74 ; 716 – 719 .
- 4) 性感染症 診断・治療ガイドライン 2016 . 日本性感染症学会誌 第 27 巻 第 1 号 ; pp 111 – 112 .